

令和6年度 原宿地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

一総括表一

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

今年度は第4期とつかハートプランの振り返りを行い、第5期ハートプラン策定に向けて支援を行っていく。引き続き今年度もICT等を積極的に活用することにより「新たな交流の場」の創出、食堂やフリースペースなどの「居場所作り」を行っていく事が求められている。

総合相談については、今後も独居高齢者、認知症高齢者が増えていくことが予想されるが、そのような方も住み慣れた地域で暮らすことができるようサービス利用につなげるとともに、地域住民同士も自助・共助の実現を目指すことができるような地域づくりが重要である。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	□	○地域で開催されている集いの場等に参加し、ケアプラザの役割などの周知を行っていく。 地域特性や地域課題を踏まえ、自主事業(居場所・交流の場作り)を企画・運営していく。
■	□	○第5期地区別計画策定に向けて、第4期計画の振り返りを、地域連携チームと共有・連携を図っていくと同時に、引き続き第4期地区別計画の周知活動も継続して行っていく。
■	□	○昨年度は、チームオレンジ活動の一環として、おしゃべりカフェのボランティアへステップアップ講座を行った。引き続き5職種で連携し推進していく。また今年度は新たに「ちくちくロバ隊」を立ち上げ、戸塚区キャラバンメイトとも連携し進めていく。
□	■	○昨年度発足した、「とつかスマホサポートーズ」を中心とした、スマホ個別相談会が定期的に実施できるように、関係機関と連携し推進していく。(参加者から担い手へ)
□	□	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

○地域課題でもある、不登校児や生き辛さを抱えている方などへ向けての居場所・交流の場づくりは今後も継続していく必要がある。引き続き、地域で開催されている集いの場等に参加し、ケアプラザの役割などについて発信を行っていく。(継続)

○第4期ハートプラン振り返り、第5期計画策定に向けて、地域連携チームと共有・連携を図ることが出来ている。引き続き、第4期計画振り返り及び、第5期計画策定に向けて、地区内イベントなどに参加し、ハートプランのアンケート調査を行っていく。(継続)

○「ちくちくロバ隊」を立ち上げ、5職種の強みを生かし、認知症当事者の方の参加に繋げている。また戸塚区キャラバンメイトへ完成した「ロバ隊長」をお渡しし、2月キャラバンメイト主催「認知症フォーラム」に参加した地域住民にお配りすることが出来た。

○今年度より、スマホ個別相談会から気軽に参加しやすい「スマホカフェ」へと形態を変え実施する事により、参加者の大幅増につながった。引き続き「とつかスマホサポートーズ」を中心に、コロナ禍で浮き彫りになった課題解決に向けて取り組んでいく。

区からのコメント

今年度は、各地域で様々な活動が躍動する一年となりました。世代や分野を問わず、様々な相談を受け止めることで地域の困りごとや住民のニーズを把握し、各職種の専門性を生かしながら取組を進めてくださっています。

原宿地域ケアプラザでは、ケアプラザの場を生かし、これまでの枠に捕らわれない多角的な視点で事業の新設・拡充を推進していただきました。

地域包括支援センター運営事業においては、地域住民の身近な福祉・保健の拠点として、チームアプローチを大切にしていただきさまざまな取組を行っていただきました。

今後も地域ケアプラザの強みを生かし、地域住民に対する専門的な支援とさまざまな活動への支援の両輪で進めていただきたいと考えております。

令和7年度は、各地区で第5期とつかハートプランの目標設定を行い、令和8年度から、その目標の達成に向けた取組推進がスタートします。引き続き地域に寄り添いながら、地域ケアプラザと区役所で力を合わせて取り組んでいきましょう。

令和6年度原宿地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	<p>①居宅介護支援事業所にケアプラン作成を依頼する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際に、特定の事業所に偏らないように努める。</p> <p>②自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努める。また、自主事業の申し込みについては、メール等を活用し運用を行っていく。</p>	法人の規程・規則に基づき、倫理・服務研修の実施をする。横浜市の指導に基づき個人情報保護について、啓発、情報共有、研修を実施する。ヒヤリハットや事故が起きた際には、記録にとどめ、当日のうちに事故原因を検証し、具体的な予防策をたてて、再発防止に努める。
実績	<p>①居宅介護支援事業所にケアプランを作成依頼する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際、「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」を活用し利用者・家族等に選択肢があることを説明し特定の事業所に偏らないように努めた。</p> <p>②自主事業や貸館の申込等は広報などを活用しながら、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールに沿って、公正・中立に運用を行った。また、夜間開閉館情報もSNS等を活用し公正・中立に行うように努めました。</p>	職場研修において、倫理・服務や個人情報保護等の研修を実施した。 各部署会議や全体会議等で事故についての原因・対策を検証し、職場全体で事故防止に取り組んだ。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	高齢者が地域の中で生きがいや役割を持って生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアプランニーズの高まりに対応するため、常勤ケアマネジャーを4人配置し経営の安定を図っていきます。 ・災害や感染などが発生した場合でも、ケアプランサービスが継続提供されるようマニュアルの整備とICTを活用し準備訓練を行います
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】 利用者の負担はなし。</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】 利用者の負担はなし。</p>
職員体制	地域包括支援センター三職種	居宅介護支援事業所管理者1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員1名(常勤専従) 介護支援専門員3名(常勤専従)
契約者数	222名	134名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	ご利用者自身が目的と楽しみを持って、住み慣れた地域、在宅において安心して、安全に暮らすことができるよう支援していきます。その中で、ご家族や担当ケアマネージャー等に見える形で情報の共有を行い、選んでもらえるようなデイサービスを目指していきます。		
実施体制	【実施日数】 月・火・水・木・金・土(12/29～1/3除く) 【提供時間】 9時25分～16時25分 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 【通所介護】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 その他 ・同一建物居住者の送迎についての減算 △101円／日 ・送迎減算(片道) △51円 【第1号通所事業】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 その他 ・同一建物居住者の送迎についての減算 要支援1:△403円／月 要支援2(週1回程度利用):△403円／月 要支援2(週2回程度利用):△807円／月	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 食事代 800円	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	通所介護事業・第1号通所事業(横浜市通所介護相当サービス) ※職員は兼務 管理者1名 生活相談員1名以上 看護職員1名以上 介護職員6名以上 調理職員6名 運転手2名		
契約者数等	【延べ利用者数】8,800人 【契約者数】96人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「横浜市原宿地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書（一般会計）<地域活動交流>

科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	(単位：円)
指定管理料	18,360,328		18,360,328	21,398,549	△ 3,038,221	横浜市より、相談スペース等確保対応事業追加含む
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	26,700	△ 26,700	
雑入	0	0	0	61,040	△ 61,040	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	21,120	△ 21,120	
その他			0	39,920	△ 39,920	交通費弁償、受入研修費収入
その他	4,294,365		4,294,365	3,479,926	814,439	戻入、施設使用料相当額、自動販売機電気使用量相当額
収入合計	22,854,693	0	22,854,693	24,968,215	△ 2,311,522	

支出の部

科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	説明
人件費	12,579,820	0	12,579,820	13,055,337	△ 475,517	
本俸	8,742,000		8,742,000	8,358,720	383,280	
社会保険料	1,283,000		1,283,000	1,264,279	18,721	
手当計	2,126,820		2,126,820	3,018,246	△ 891,426	
健康診断費	59,000		59,000	59,116	△ 116	
勤労者福祉共済掛金	217,000		217,000	221,813	△ 4,813	
退職給付引当金繰入額	134,000		134,000	133,163	837	
その他	18,000		18,000	0	18,000	
事務費	1,416,469	0	1,416,469	3,978,874	△ 2,562,405	
旅費	40,000		40,000	31,510	8,490	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	433,000		433,000	524,786	△ 91,786	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品等
会議転手費	0		0	20,214	△ 20,214	
印刷製本費	104,000		104,000	97,898	6,102	コピー・カウント等
通信費	484,000		484,000	351,463	132,537	電話、インターネット回線使用料、切手、DM便等
使用料及び賃借料	0	0	0	21,120	△ 21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	21,120	△ 21,120	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	1,999,184	△ 1,999,184	相談スペース等確保対応事業
図書購入費			0	0	0	
施設賃貸料・責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	3,000		3,000	0	3,000	研修参加費
振込手数料	8,000		8,000	8,089	△ 89	振込手数料
リース料	39,000		39,000	34,129	4,871	玄関マットレンタル代
手数料	72,000		72,000	51,475	20,525	OA銀行、社労士顧問料
地域協力費	5,000		5,000	4,800	200	来客用お茶代
その他	228,469		228,469	834,206	△ 605,737	監査報酬、OA保守料、諸会費等
事業費	316,426	0	316,426	40,176	276,250	
運営協議会経費	20,000		20,000	0	20,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	296,426		296,426	40,176	256,250	
その他			0	0	0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検			0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0	0	0	
管理費	7,191,978	0	7,191,978	6,336,700	855,278	
光熱水費	5,019,762		5,019,762	4,139,025	880,737	
清掃費	1,130,653		1,130,653	1,130,653	0	施設日常清掃業務等
機械警備費	85,000		85,000	84,676	324	施設警備
設備保全費	956,563	0	956,563	855,219	101,344	
空調衛生設備保守	160,592		160,592	160,592	0	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	77,863		77,863	77,863	0	消防設備点検
電気設備保守	110,011		110,011	122,918	△ 12,907	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	28,128		28,128	28,128	0	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	579,969		579,969	465,718	114,251	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理・塵芥処理
共益費			0	0	0	
その他	0		0	127,127	△ 127,127	
修繕費	474,000		474,000	761,462	△ 287,462	予算：指定額
公租公課	676,000	0	676,000	842,088	△ 166,088	
事業所税			0	0	0	
消費税	676,000		676,000	842,088	△ 166,088	消費税
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	22,854,693	0	22,854,693	25,014,637	△ 2,359,944	支出には法人本部経費は含まれず
差引	0	0	0	△ 48,422	48,422	

自主事業費 収入	0	0	0	26,700	△ 26,700
自主事業費 支出	296,426	0	296,426	40,176	256,250
自主事業 収支	△ 296,426	0	△ 296,426	△ 13,476	△ 282,950

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「横浜市原宿地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,575,210		30,575,210	30,657,239	△ 82,029	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,916,880		5,916,880	5,916,880	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	35,100	△ 35,100	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			157,766	0	157,766	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	157,766		157,766	△ 2,375,127	2,532,893	戻入
収入合計	37,103,856	0	37,103,856	34,688,092	2,415,764	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,850,263	0	31,850,263	29,011,117	2,839,146	
本俸	17,822,000		17,822,000	15,459,110	2,362,890	
社会保険料	4,536,000		4,536,000	4,041,480	494,520	
手当計	7,917,263		7,917,263	8,327,066	△ 409,803	
健康診断費	38,000		38,000	53,877	△ 15,877	
労働者福祉共済掛金	785,000		785,000	665,437	119,563	
退職給付引当金繰入額	528,000		528,000	464,147	63,853	
その他	24,000		24,000	0	24,000	
事務費	1,582,564	0	1,582,564	1,645,340	△ 62,776	
旅費	71,000		71,000	34,900	36,100	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	207,000		207,000	112,365	94,635	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	167,000		167,000	94,378	72,622	コピー・カウント等
通信費	401,000		401,000	357,857	43,143	電話、インターネット回線使用料、切手、DM便等
使用料及び借入料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	5,000		5,000	0	5,000	
職員等研修費	9,000		9,000	18,000	△ 9,000	研修参加費
振込手数料	9,000		9,000	7,104	1,896	振込手数料
リース料	39,000		39,000	34,129	4,871	玄関マットレンタル代
手数料	77,000		77,000	51,959	25,041	OA銀行、社労士顧問料
地域協力費	10,000		10,000	0	10,000	来客用お茶代
その他	587,564		587,564	934,648	△ 347,084	監査報酬、OA保守料、諸会費等
事業費	1,392,593	0	1,392,593	773,889	618,704	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	258,593		258,593	77,733	180,860	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,715	285	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000	305,966	△ 5,966	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000	26,475	23,525	予算:指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,910,436	0	1,910,436	1,684,427	226,009	
光熱水費	1,302,616		1,302,616	1,100,246	202,370	
清掃費	330,551		330,551	300,551	30,000	施設日常清掃業務等
機械警備費	23,000		23,000	22,508	492	施設警備
設備保全費	254,269	0	254,269	227,329	26,940	
空調衛生設備保守	42,688		42,688	42,688	0	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	20,697		20,697	20,697	0	消防設備点検
電気設備保守	29,243		29,243	32,673	△ 3,430	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	7,477		7,477	7,477	0	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	154,164		154,164	123,794	30,370	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理、塵芥処理
共益費			0	0	0	
その他			0	33,793	△ 33,793	
修繕費	126,000		126,000	202,413	△ 76,413	予算:指定額
公租公課	442,000	0	442,000	454,403	△ 12,403	
事業所税			0	0	0	
消費税	442,000		442,000	454,403	△ 12,403	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	37,103,856	0	37,103,856	33,771,589	3,332,267	支出には法人本部経費は含まず
差引	0	0	0	916,503	△ 916,503	職員不足による人件費減額、支出を抑えた事業の実施による事業費減額

自主事業費 収入	0	0	0	35,100	△ 35,100
自主事業費 支出	762,593	0	762,593	563,889	198,704
自主事業 収支	△ 762,593	0	△ 762,593	△ 528,789	△ 233,804

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 原宿地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市原宿地域ケアプラザ

R6年4月1日～R7年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
	介護保険収入			0	12,929	13,517	-588	33,187	33,234	-47	79,834	83,623	-3,789	5,722	3,893	1,829
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,885	10,753	8,132	707	628	79
収入	事業・負担金収入			0			0			0	18,285	9,858	8,427	707	628	79
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	600	895	-295			
	収入合計(A)	0	0	0	12,929	13,517	-588	33,187	33,234	-47	98,719	94,376	4,343	6,429	4,521	1,908
支出	人件費			0			0	26,672	24,967	1,705	73,084	65,969	7,115	6,429	4,521	1,908
	事務費			0			0	1,840	1,952	-112	13,381	15,588	-2,207			0
	事業費			0			0	39	34	5	15,810	15,540	270			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	10,863	11,294	-431	0	0	0	600	895	-295	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	10,863	11,294	-431						0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	10,863	11,294	-431	28,551	26,953	1,598	102,875	97,992	4,883	6,429	4,521	1,908
	収支(A)-(B)	0	0	0	2,086	2,223	-157	4,636	6,281	-1,645	-4,156	-3,816	-540	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	たいしうお話し会(仮)	令和6年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	令和5年度まで行っていた障がい児者の放課後の余暇活動として、大正プロジェクトを実施していたが、形を変えて引き続き、障がいのある子どもたちが、障害の有無に関わらず地域の人たちと関わりながら豊かに過ごせる活動の場、交流を通して、成長を見守ってくれる地域のサポートを増やすこと。	2:障害児・者		現在隔月地区センターのお部屋をお借りし、個別支援級在籍の子どもたちを対象にした居場所プロジェクトとして平成29年3月からスタートした。また、高齢者施設・障害者施設の職員、ボランティアなどと協力し開催している。 年2回予定	0	0
2	たいしう食堂	平成31年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子供から高齢者が一緒に集い、食事をする場の提供により、地域の活性化(世代間交流)を目的として実施	5:地域		大正地区センターを会場として開催。令和4年度より食堂を再開することが出来た。引き続き多世代交流を目的とした食堂として継続していく。年4回予定	4	304
3	たいしう食堂(食品配布会・フードドライブ)	令和2年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍より始まった事業(当初食堂の代わりとして実施)。生活に困っている家庭への支援だけではなく、困った時に声を上げられる関係性を構築していく。	5:地域		大正地区センターを会場として開催。令和5年度より、5施設で同日でフードドライブを実施。集まった食品等を配布会にて活用。配布会年4回、フードドライブは常設での実施を検討していく。	6	6
4	障がい学習会	平成30年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害のあるこどもの保護者どうしの情報交換や研修を通じ、地域に必要とするサービスなどの開発や関係機関とのネットワーク作りにつなげる。	3:養育者及び乳幼児		障害のあるこどもたちがいきいきと個性を活かして地域になるにはとのことで意見交換。参加している療育者のニーズをもとに講師や内容などを検討していく。 年4回程度	1	7

■ 事業		■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者			
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児	
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）	2 : 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者	
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）			7 : その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期		合計	
								実施回数	延べ参加人数		
5	子育て連絡会	平成23年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援に関わる関係機関同士のネットワークの構築、ダブルケア、虐待防止などに対応していくため、子育て分野、高齢者支援分野との連携も目的としている。	5:地域		エリア内外で活動する子育て支援関係機関、当事者サークル、高齢者施設の皆さんと地域の現状と課題について意見交換を行った。 年3回程度	3	55	
6	おしゃべりカフェ(チームオレンジ)	平成31年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケア会議などで、住民より地域の居場所が少しでも出来ればとのお声を多數頂いたため、ケアプラザで実施することとなった。今年度はチームオレンジ事業として推進していく。また、新たなボランティアの担い手を創出させる狙い。	5:地域		地域の方ならばどなさまでも参加できる カフェ 令和5年度よりチームオレンジ事業として開催している。 原則毎月1回開催	11	249	
7	傾聴ボランティア養成講座	平成24年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	独居の高齢者、日中独居の方、施設入所者、高齢者サロン、介護をしているご家族の方を対象にした傾聴活動ボランティアの育成を目的とする。	5:地域		シニアライフセラピー研究所の方を講師に2回の傾聴の基礎についてワークを中心に実施。戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会の川原先生を講師に認知症センター養成講座、既存の傾聴グループの方にも参加していただき傾聴の活動の様子などの紹介。	4	69	
8	にこにこマルシェ@たいしょう (旧にこにこフリーマーケット)	令和2年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の母親同士の交流・情報交換、居場所づくりを目的として開催。	5:地域		子育て中の親同士の交流・居場所作りを目的として開催(年2回程度) 子育て支援団体等とも連携することにより、支援の輪が広がるように開催していく。 今年度も継続して実施できるよう、関係団体等とも連携し検討を行っていく。	2	546	
9	スマホ教室	令和3年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元の企業の協力を仰ぎ開催し、今年度も引き続きリビングラボと連携し実施。 卒業生を対象とした、フォローアップ講座も検討中。	1:高齢者		全5回の講座を予定(時期未定) 時間 10時～12時:13時30分～15時30分 場所 原宿地域ケアプラザ 卒業生をとつかスマホサポートーズへ参加を促し、参加者から担い手へ進めていく。	0	0	

■事業		■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者	
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）	2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4 : 子ども・青少年	5 : 地域 6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）			7 : その他	

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期		合計	
								実施回数	延べ参加人数		
10	スマホ教室(フォローアップ)	令和4年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元の企業の協力を仰ぎ開催し、今年度も引き続きリビングラボと連携し実施。	1:高齢者		日程:不定期(現在未定) 時間:午前又は午後 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:スマホ教室卒業生向けへのフォローアップ講座	0	0	
11	スマホカフェ(とつかスマホサポートー)	令和5年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元の企業の協力を仰ぎ開催し、今年度も引き続きリビングラボと連携し実施。 シニアによるシニアのスマホカフェの開催を目指していく。	1:高齢者		日程:不定期(現在未定) 時間:午前又は午後 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:スマホ教室卒業生によるスマホ相談会	6	100	
12	とつかパパ楽会	令和5年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	戸塚区内の6つのケアプラザでの共催事業 父親育児支援(居場所)を行っているが集客・継続に課題を抱えているため、区内のケアプラザで連携し周知する事により一人でも多くの父親に情報が届くことができる。 また、区域で父親支援事業を実施することにより課題の抽出やニーズの把握を行う。	3:養育者及び乳幼児		原則毎月開催(8月・1月はなし) 5施設で持ち回り開催 時間:10時～12時 場所:各施設又は会場	2	42	
13	海のお祭り	令和6年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	SDGs企画 海の無いまちから、海を守ろう、知ろう、楽しもうをテーマに開催 ワークショップを中心に海ゴミ、や貝殻などを活用した、体験型イベント	5:地域		日程:8/4(日) 時間:10時～15時 場所:原宿地域ケアプラザ	1	206	
14	能登半島震災復興応援・防災イベント	令和6年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	令和6年1月に発生した能登半島震災復興応援イベントとして、石川県の特産品を購入し販売と、防災関連用品の展示会なども同時にを行い、地域の防災意識を高める事目的	5:地域		日程:5/19(日) 時間:10時～16時 場所:原宿地域ケアプラザ	1	250	
15	よこはまシニアボランティア登録研修会	平成28年～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」と介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすることを目的とする。	1:高齢者		実施時期:年1回程度 内容:よこはまシニアボランティアポイント事業登録研修会と地域の高齢者福祉施設を招き事業所紹介(ボランティア募集について)を実施。	1	10	

■事業		■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者	
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2） 5 : 共催（1と3）	2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年 5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）			7 : その他	

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会	平成28年～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	様々な主体による多様な支援の活動報告や介護予防・生活支援の充実した地域づくりのための情報提供、ケアマネジャー同士の関係構築、介護保険制度や社会福祉資源の情報共有等を行う。	6:事業者		実施時期:年2回程度 内容:インフォーマルサービスや横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業等の情報提供。ケアマネジャー向け研修会の開催。民生委員の研修会も同時開催。	1	15
17	知つ得講座	平成30年～	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護保険申請やケアマネジャーの役割、福祉用具や住宅改修等についての講座を実施し、住み慣れた地域でより安心した老後を迎えることができるような情報を周知していく。	1:高齢者		実施時期:年2回程度 内容:包括支援センター職員による介護保険制度の周知及び福祉用具の事業所による住宅改修、成年後見制度等の説明。	1	13
18	終活講座	令和2年～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	終活講座を行うことで、安心して生活ができるような情報を発信していく。	1:高齢者		実施時期:年1回程度 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:生前整理・相続等	0	0
19	携帯電話講座	令和2年～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域住民を対象にスマートフォンの基本的な使い方(カメラやメール等)について講座を行い、子どもや孫世代とのコミュニケーションツールとなるように情報発信していく。	1:高齢者		実施時:年2回程度 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:スマートフォンの使い方講座等	0	0
20	森のカフェこすづめ	令和元年～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	小雀町の現在の活動に加え、今まで実施していなかったカフェを行い、地域活動に参加されていなかった方々の掘り起こしを行う。	5:地域		実施日:原則第3水曜日 時間:10時～12時 場所:小雀町内会館 内容:どなたでも参加できる地域向けのカフェ	11	43
21	お医者さんとの上手な付き合い方、話し方。	令和3年～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、病院との関わり(医師等)を含め、地域の方々に周知をしていきたい。	5:地域		実施時期:年1回 内容:お医者さん等と上手な付き合い方や、話をするコツについての講義を実際に医師を招いて行う。	0	0

■事業		■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者	
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2） 5 : 共催（1と3）	2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年 5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）			7 : その他	

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
22	エンディングノート	令和2年～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	エンディングノートの概要を理解し、実際に書いてみることで、自身の将来への備えを考えてもらうきっかけとする。(戸塚区版エンディングノートをもとに講座開催)	1:高齢者		時間:13時30分～15時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:戸塚区版エンディングノートをもとに講座開催を予定	0	0
23	生活支援体制整備事業協議体	平成28年～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	①多様な主体間の情報共有、連携体制の構築 ②地域情報や課題の把握 ③地域づくりにおける意識の統一 ④新たなサービス創出	1:高齢者		実施時期:年4回程度 内容:地域の強みや地域住民が関心を持つことができ、集まりやすいテーマ等のグループワーク。サービス創出に向けた意見交換。	10	98
24	おひとつよしの会	令和5年～	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	デイサービスボランティアさんが地域貢献を念頭に活動を行う。	5:地域		実施日:毎月金曜日(休館日を覗く) 時間:13時～15時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:ケアプラザや近隣の介護施設の助けとなる活動	4	12

■事業		■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者			
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児	
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）	2 : 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者	
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）			7 : その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期		合計	
								実施回数	延べ参加人数		
25	ボランティア情報交換会	令和2年～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動についての情報交換や共有を行なうことを目的とする。(活動の継続や新たな活動に結び付けられる機会づくり。活動の悩み等を報告できる機会となっている。)	5:地域		日程:年5回 時間:10時～12時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:ケアプラザや近隣の介護施設の助けとなる活動	1	15	
26	NPO法人ぐるーぶちえのわ サービスB	令和4年～	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	令和4年度から横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業がスタートした。サービスB事業を行う中でぐるーぶちえのわと共に事業を進め安定経営を目指し、地域へ活動を浸透させる。	1:高齢者		実施日:毎月水曜日(年末年始、祭日を除く) 時間:11時～14時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:介護予防運動や認知症予防の取組、アート活動等幅広い活動。	46	742	
27	楽しくトレーニングしよう会	平成21年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリアの保健活動推進員と共に「はまちゃん体操」や「ハマトレ」「脳トレ」などを実施し、介護予防の普及啓発と体操等に従事するボランティアの育成を行う。	1:高齢者		日程:4月～3月(月1回日曜日) 時間:10時～11時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:体操、脳トレ	12	173	
28	原宿コグニサイズの会	平成30年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健常体操や認知症予防に効果的といわれているコグニサイズを実施することで、仲間づくりや社会参加の促す目的。	1:高齢者		日程:4月～3月(月1回土曜日) 時間:10時～11時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:健常体操、コグニサイズ、笑いヨガ等	12	237	
29	協力医による健康講座	令和元年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	疾患についての正しい知識や関わり方等の知識を得てもらう目的。	1:高齢者		日程:年1回 時間:13時～14時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:協力医による健康講座	1	16	

■事業		■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者	
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2） 5 : 共催（1と3）	2 : 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		4 : 子ども・青少年 5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）			7 : その他	

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	認知症予防 音楽療法	平成28年～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域高齢者を対象に、認知症予防を目的とした講座を開催する。	1: 高齢者		日程: 年1回 時間: 10時30分～11時30分 場所: 原宿地域ケアプラザ 内容: 音楽療法士による歌やリズム、回想法を用いた認知症予防講座	1	30
31	GOGO体操	令和2年～	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防講座のOB会として立ち上がった介護予防活動グループ。会との共催により安定的な開催ができるようにする。	1: 高齢者		日程: 毎月2回(火曜日) 時間: 13時30分～15時 場所: 原宿地域ケアプラザ 内容: 健康体操	24	458

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期		合計	
								実施回数	延べ参加人数		
32	HJトレーニングクラブ	令和5年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	男性限定の介護予防講座のOB会として新たに立ち上がった、男性中心の介護予防活動グループ。会との共催により、安定的な活動ができるよう支援する。	1:高齢者		日程:毎月1回(木曜日) 時間:13時30分～15時00分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:健康体操、筋トレ	12	101	
33	居宅介護事業所連絡会・研修会	H28	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のケアマネジャー等と民生委員を対象に、研修会やインフォーマルサービス等の情報提供を行い、地域包括ケアシステム実現に向けて、在宅生活を継続するための支援に取り組む。	6:事業者		地域のケアマネジャーと民生委員を対象に、協力医の講師による研修会、インフォーマルサービス等の紹介。ケアマネジャーと民生委員の顔の見える関係作り。	1	26	
34	フリースペース SORA	令和4年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近年、不登校の子供が増えてきている現状を踏まえ、ケアプラザの販売室をフリースペースとして開放し、地域と顔の見える関係性を構築していく事を目標	4:子ども・青少年		令和4年9月～実施予定 毎月1回(第4火曜日) 13時～15時でフリースペースを実施予定。 不登校児の保護者や当事者の方の居場所として開催を目指している。	12	62	
35	運転ヘルスチェック	令和6年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	エリア的にも駅から離れており、高齢になつても運転を続けているため、ご家族からの相談も増えてきている。今回65歳以上を対象に行う事によって、自分の状態を客観的データとして把握する事により、1日でも長く運転が続けられその人らしい生活が継続出来るようにすることが目的	1:高齢者		令和6年9月22日(日) 認知機能検査、目、耳の聞こえ方チェック サポカ一体験、身体チェック(神経シグキ体操、安全運転講話)	1	6	
36	知っててよかった お金のこと、0歳から始める性教育	令和6年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	今回プレパパ、プレママ、未就学児を対象とすることで、コミュニティを作る事と、教育資金(マネーライフ)や性教育(父親の参加)をご家族で考えるきっかけとすることが目的	3:養育者及び乳幼児		令和6年8月28日(水) メーライフ講座と0歳から始める性教育	1	11	
37	親子であそぼう 音楽広場	令和6年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	以前からの利用者アンケートにおいてリトミックをケアプラザで行っていただきたいとのご意見を受け今回開催。リトミック以外にも、絵本の読みきかせや楽器遊びなどを取り入れていく	3:養育者及び乳幼児		令和6年8月3日(土) リトミック、絵本の読み聞かせ、楽器遊び	1	8	

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期		合計	
								実施回数	延べ参加人数		
38	ちくちくロバ隊	令和6年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、認知症キャラバンメイトマスコットキャラクター「ロバ隊長」を作成し、戸塚区のキャラバンメイトと連携していく事を目的	1:高齢者		令和6年6月～ 第3金曜日 戸塚区認知症マスコットキャラクター「ロバ隊長」を作成し、戸塚区キャラバンメイトへお渡しする活動	10	112	
39	知っててよかった講座 暮らし×移動編	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	企業間連携 地域住民対象 エリアは山坂が多く、介護状態になった際に安心して外出できるよう、様々な取り組みの紹介やUDタクシーなどがあることを地域住民に知っていただくことが目的	1:高齢者		令和7年2月3日 原宿地域ケアプラザ	1	21	
40	知っててよかった講座 暮らし×仕事編	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	企業間連携 地域住民対象 戸塚区こころの健康福祉ネットワーク事業 障がいがあつても、自分らしく暮らすをテーマに、当事者の方の講和や、就労移行支援事業でできる事などについて、地域住民、支援者などに知っていただくことが目的	2:障害児・者		令和7年3月12日 原宿地域ケアプラザ	1	12	
41	ドローン×プログラミング教室	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	企業間連携事業 近年、小学生よりプログラミング教室が始まり(学校では実際に体験するということが難しい現状)、よりパソコンなどのデジタルに実際に触れて体験することが一番の目的	4:子ども・青少年		令和7年2月2日 原宿地域ケアプラザ	1	15	
42	消費者被害防止講座	令和6年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	主に独居高齢者を狙う悪質業者の手口を知り、どのように対処すべきかを横浜市消費生活総合センターに講師を依頼し、地域住民を対象に講演会を開催。 実際にあった被害の実例を講師に講話してもらうことで、被害が身近に起きていることを実感してもらう。	1:高齢者	5	外部講師(横浜市消費生活総合センター)による講演会 令和6年10月30日 14時～15時半 原宿地域ケアプラザ	1	27	
43	おひとり様のための心の準備	令和6年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	独居高齢者の中でも、頼れる親族がいない方が増えている現状を踏まえ、これからの備えや社会資源・業者の選び方などの前知識を習得することで高齢者の不安を軽減する。	1:高齢者		外部講師(一般社団法人の主任ソーシャルワーカー)による講演会 令和7年3月27日 原宿地域ケアプラザ	1	38	